

報道関係者各位
プレスリリース

2015 年 12 月 21 日
株式会社 F F R I



FFRI と米国 Lastline 社が連携に向けた取り組み開始
～エンドポイントとゲートウェイを連携させた多層防御のサイバー攻撃対策の構築に向けて～

サイバーセキュリティ領域において国内で独自の研究開発活動を展開している株式会社 FFRI（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：鶴飼裕司、以下 FFRI）は、標的型攻撃対策に特化した技術・サービスを提供する Lastline, Inc.（本社：米国カリフォルニア州レッドウッドシティ、CEO：Jens Andreassen、以下 Lastline）と連携を図っていくことについて 2015 年 12 月 21 日に合意いたしました。

連携の背景

標的型攻撃をはじめとしたサイバー攻撃は、日々進化しており、防御する側は攻撃側を先回りした対策技術が求められています。

FFRI では進化し続けるサイバー攻撃技術を独自の視点で分析し、日本国内で標的型攻撃対策ソフト「FFR yarai」をはじめとしたエンドポイント型の対策技術の研究開発を進めてまいりました。このたび FFRI は Lastline が全世界から収集する包括的なマルウェアデータベースを活かしたゲートウェイ型のマルウェア防御技術に注目し、同社との連携に取り組むことになりました。

FFRI と Lastline は、FFRI のエンドポイント対策技術と、Lastline のゲートウェイ対策技術を組み合わせることとで、新たな多層防御のサイバー攻撃対策サービスやソリューションの提供に取り組めます。

■ Lastline, Inc.について

米 Lastline は、多くのセキュリティ研究機関やセキュリティベンダーに利用されているバイナリファイル分析「Anubis（アヌビス）」、Web サイト脅威分析「Wepawet（ウエパウェット）」の開発者により 2011 年に設立されました。設立メンバーは、カリフォルニア大学サンタバーバラ校、ノースイースタン大学の教授陣で、15 年以上の研究開発成果を基に次世代サンドボックス技術を製品化し、APT（Advanced Persistent Threat）を初め、標的型攻撃およびゼロデイ攻撃に特化した業界最高レベルの検知率および低誤検知率のマルウェア防御システムを提供し、北米を中心に 500 社以上の導入実績があります。

Lastline, Inc. : <http://lastline.com>

■株式会社 FFRI について

当社は 2007 年、日本において世界トップレベルのセキュリティサーチチームを作り、コンピュータ社会の健全な運営に寄与するために設立されました。現在では日々進化しているサイバー攻撃技術を独自の視点で分析し、日本国内で対策技術の研究開発に取り組んでいます。研究内容は国際的なセキュリティカンファレンスで継続的に発表し、海外でも高い評価を受けておりますが、これらの研究から得られた知見やノウハウを製品やサービスとしてお客様にご提供しています。主力製品となる、「FFR yarai」はミック経済研究所調べ^{※1}によるエンドポイント型標的型攻撃対策分野における出荷金額において No.1 を獲得しております。

※1 出典：ミック経済研究所「情報セキュリティソリューション市場の現状と将来展望 2015【外部攻撃防御型ソリューション編】」

本件に関するお問い合わせ先
写真・資料等をご入用の場合もお問い合わせください。

株式会社 FFRI
経営管理本部 PR 担当
TEL：03-6277-1811
E-Mail：pr@ffri.jp URL：<http://www.ffri.jp>

「FFRI」、「FFR yarai」は、株式会社 FFRI の登録商標です。

その他すべての社名、製品・サービス名は、各社の商標または登録商標です。

出典資料の引用等、調査会社の著作物を利用する場合は、出典元にお問い合わせください。